

2021年9月16日

各位

大同生命保険株式会社
代表取締役社長 北原 睦朗

「パートナーシップ構築宣言」の公表

～すべての関係事業者との共存共栄を目指して～

T&D保険グループの大同生命保険株式会社（社長：北原 睦朗）は、このたび、取引先をはじめとするすべての関係事業者との共存共栄を目的とした「パートナーシップ構築宣言」を作成し、全国中小企業振興機関協会が運営するポータルサイトにて公表しましたので、お知らせいたします。（公表企業一覧URL：<https://www.biz-partnership.jp/list.php>）

大同生命は、今後も、健全な事業活動を通じて、“すべてのステークホルダーの満足度（GDH）”の増大を追求していきます。

※GDH=Gross Daido Happiness

<「パートナーシップ構築宣言」の概要>

- 「パートナーシップ構築宣言」は、経団連会長、日商会頭、連合会長及び関係大臣をメンバーとする「未来を拓くパートナーシップ構築推進会議」において創設されました。この宣言は、サプライチェーンの取引先や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築することを宣言するものです。
- 「パートナーシップ構築宣言」では、
 1. サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を越えた新たな連携
 2. 親事業者と下請事業者との望ましい取引慣行（下請中小企業振興法に基づく「振興基準」）の遵守を宣言し、ポータルサイトに掲載することで、各企業の取組みを「見える化」しています。



以上

「パートナーシップ構築宣言」

当社は、サプライチェーンの取引先の皆様や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築するため、以下の項目に重点的に取り組むことを宣言します。

1. サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を超えた新たな連携

直接の取引先を通じてその先の取引先に働きかける（「Tier N」から「Tier N+1」へ）ことにより、サプライチェーン全体での付加価値向上に取り組むとともに、既存の取引関係や企業規模等を超えた連携により、取引先との共存共栄の構築を目指します。その際、災害時等の事業継続や働き方改革の観点から、取引先のテレワーク導入やBCP（事業継続計画）策定の助言等の支援も進めます。

（個別項目）

a. トータルな保障の提供

経営者の皆様が安心して事業に専念できるよう、万が一のリスクをカバーする定期保険と病気やケガで働けなくなった際のリスクをカバーする就業不能保障をセットした「トータルな保障」をお届けします。

b. 健康経営の実践支援

経営者・従業員の皆様の健康管理・健康づくりに資するサポートプログラム等の提供を通じて、健康経営の実践を支援します。

c. 経営課題の解決支援

「M&A支援サービス」や「災害時の安否確認システム」等の提供を通じて、事業の継続・発展やリスク管理をはじめとする経営課題の解決を支援します。

2. 「振興基準」の遵守

親事業者と下請事業者との望ましい取引慣行（下請中小企業振興法に基づく「振興基準」）を遵守し、取引先とのパートナーシップ構築の妨げとなる取引慣行や商慣行の是正に積極的に取り組みます。

①価格決定方法

不合理な原価低減要請を行いません。取引対価の決定に当たっては、下請事業者から協議の申入れがあった場合には協議に応じ、労務費上昇分の影響を考慮するなど下請事業者の適正な利益を含むよう、十分に協議します。取引対価の決定を含め契約に当たっては、親事業者は契約条件の書面等による明示・交付を行います。

②手形などの支払条件

下請代金は可能な限り現金で支払います。手形で支払う場合には、割引料等を下請事業者の負担とせず、また、支払サイトを60日以内とするよう努めます。

③知的財産・ノウハウ

取引上の立場を利用した片務的な秘密保持契約の締結やノウハウの開示、知的財産権の無償譲渡などは求めません。

④働き方改革等に伴うしわ寄せ

取引先も働き方改革に対応できるよう、下請事業者に対して、適正なコスト負担を伴わない短納期発注や急な仕様変更を行いません。災害時等においては、下請事業者に取引上一方的な負担を押し付けないように、また、事業再開時等には、できる限り取引関係の継続等に配慮します。

2021年9月7日

大同生命保険株式会社 代表取締役社長 北原 睦朗